

令和7年度（2025年度）

実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	摂津市商工会
代表者職・氏名	会長 中川 廣司
所在地	〒566-0021
	大阪府摂津市南千里丘4-35-3階
設立年月日	昭和37年06月19日
職員数	9
うち経営指導員数	9
所管地域	摂津市
管内事業所数	3,935（R3年経済センサス）
うち小規模事業者数	2699
会員数	1888
組織率	48.0%
担当者職・氏名	事務局長 島内 嘉紀
連絡先電話番号	06-6318-2800
連絡先メールアドレス	info@settsu-sci.jp

□主な事業概要（定款記載事項等）

- (1)商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。
- (2)商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。
- (3)商工業に関する調査研究を行うこと。
- (4)商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。
- (5)展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。
- (6)商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- (7)大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。
- (8)商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- (9)行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- (10)社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- (11)商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。
- (12)行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- (15)商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。
- (16)輸出品の原産地証明を行うこと。
- (17)前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

摂津市は人口約87,000人、3,935事業所で従業員数50名以下が約90%という中小企業のまちである。一方、大規模事業所が国内でも主要な工場・研究拠点を置いていて、市外から働きに来る人が多いことから、夜間よりも昼間の人口が多くなる「産業のまち」である。事業所数は、2016年からの5年間で147者、3.6%減少、REASAS(地域経済分析システム)では2045年は人口が1万人～3万人減少すると推計されており、事業者を取り巻く状況は大変厳しいものとなっている。

令和6年度摂津市市内事業所ニーズ調査から、経営者の年齢70歳以上が全事業者の26.8%を占めており、後継者が「未定・わからない」が38.5%と最も多く、事業承継が課題である。また、産業を支える雇用の指標である有効求人倍率は約2倍と近隣市に比べて高く、少子高齢化による人手不足も課題である。人材確保やM&Aによる事業承継などに取り組むとともに、事業継続に向けた事業再構築や新事業展開など、自社の強みを活かしたお客様目線での新たな商品・サービスの開発、DXを活用した生産性向上や販路開拓など持続的な経営を行っていくうえで大きな課題となっている。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

摂津市は大手企業の下請けで培った高い技術を持ったオンリーワン事業者が多く、オープンファクトリー事業による地域工業活性化を目指す。また健都イノベーションパーク進出企業と市内企業で食や健康をテーマで連携したライフサイエンス分野や2025年大阪・関西万博に向けて地域ブランドを育成して万博及び万博関連事業へ事業者の出展支援に取り組む。商業事業者については小規模店舗参加型スクラッチカード事業やまちゼミなどを通じて、個店の魅力を情報発信し、魅力的ある商店を増やすとともに創業者の参入を促し、共に商店街活性化に連携して取り組む。

小規模事業者の事業意欲の向上と意識改革を促し、消費者ニーズや地域に根差した商品・サービス提供による持続的発展と経営力向上目標に、事業計画の策定などの伴走支援、事業者間の交流・連携の促進、人材育成や起業・事業承継、経営力強化や制度改革に伴う記帳や労務支援、物価高、人手不足や高齢化などの社会の構造変化に対応できる新たな事業展開、南トラフ地震など自然災害に対応するためのBCP策定支援など持続的な経営を行っていくように、摂津市・市内金融機関・各支援機関等と連携をして取り組む。

(3) 事業を実施した効果

経営相談支援事業では市や金融機関、専門家と連携して、販路開拓、事業計画作成、創業、事業承継など融資や助成金、補助金、DXなどを活用して経営課題解決に向けた具体的な取組を支援することができた。また大阪勧業展や摂津まちゼミ、スクラッチカード事業などの販路開拓支援を通じて、新たな顧客獲得や売上向上の機会が創出された。人材の課題に対しては三市一町合同就職面接会や障がい者就職面接会、おしごとフェアなどのマッチング支援により、深刻化する人手不足への対応が図られた。またせつつキッズファクトリーは、製造業の魅力発信と会社のインナーブランディングにもつながった。大阪・関西万博への多くの事業者の出展により、摂津市の技術力や鳥飼なすをはじめとする地域特産物の魅力を国内外に発信できた。鳥飼なすワングランプリやビジネスマッチングフェアを通じて、事業者間の連携強化と地域資源の活用促進による地域活性化につながった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

中東情勢による原材料・エネルギー価格の高騰、人件費上昇、インボイス制度導入、金利上昇などにより、中小・小規模事業者は売上・利益減少や資金繰り悪化といった課題に直面している。加えて、人材確保、後継者不足、事業承継、BCP策定も重要な経営課題である。専門相談では、法務・労務トラブルや資金調達に関する相談が増加している。地域活性化事業では、セミナーや交流会実施後の継続的なフォロー、補助金活用支援が課題となっている。さらに、南海トラフ巨大地震など災害リスクの高まりを踏まえ、リスクマネジメントの周知とBCP策定支援の強化が必要である。これらに対応するため、新たな販路開拓や新製品開発支援を通じて経営力向上を図るとともに、人材確保や事業承継支援を推進する。専門相談事業では周知徹底と活用促進に努め、きめ細かな支援を実施する。地域活性化事業では行政等と連携し、タイムリーな情報提供やビジネス機会創出を通じて企業経営の安定・発展と地域活性化を目指す。

I 経営相談支援事業

前年度支援企業数		269 社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	240	240	243	101.3%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	70	70	59	84.3%
3	金融支援（紹介型）	支援数	5	5	7	140.0%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	20	20	18	90.0%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0	1	-
6	資金繰り計画作成支援	事業所	0	0	0	-
7	記帳支援	事業所	20	20	26	130.0%
8	労務支援	支援数	30	30	37	123.3%
9	人材育成計画作成支援	事業所	0	0	7	-
10	マーケティング力向上支援	事業所	0	0	0	-
11	販路開拓支援	支援数	65	65	77	118.5%
12	事業計画作成支援	支援数	25	25	34	136.0%
13	創業支援	事業所	5	5	13	260.0%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	20	20	100.0%
15	コスト削減計画作成支援	事業所	0	0	0	-
16	財務分析支援	事業所	13	13	19	146.2%
17	5S支援	事業所	0	0	0	-
18	IT化支援	事業所	3	3	1	33.3%
19	債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0	-
20	事業承継支援	事業所	10	10	4	40.0%
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	70	70	70	100.0%
23	結果報告	事業所	240	240	243	101.3%

件数設定の根拠（今年度の特徴等）

物価高、人手不足の影響に加えて、働き方改革や消費税およびインボイス制度改正などに対応した労務や記帳支援に取り組む。承継者や創業者を増やすべく摂津市と創業や事業承継支援に取り組む。事業者の防災・減災に向けた事業継続計画や事業計画作成支援による経営力強化、創業者や市内小規模事業者の抱える課題の解決に向けて各種支援機関との連携を図り、各種施策の普及・利用促進にも努める。カルテ化目標数は240社程度とする。

支援のポイント・成果

物価高や人件費高の影響を受けた業種を中心に金融支援、人材不足に悩む製造業やサービス業などで人材採用や働き方改革に対応するための労務支援、イベント出店やHP作成・SNS活用による販路開拓や新事業展開など事業計画作成のニーズも高かった。今年度は主に40～50歳代を中心とした創業相談が非常に多かった。代表事例のH社の新事業に向けた地域や産学連携、災害時の事業継続計画をきっかけとした市と災害連携協定につながるなど、各種支援機関・専門家との連携を図り、生産性向上や付加価値の高い商品・サービスをどう提供するか販路開拓も含めて経営革新や事業承継、創業、新事業展開など、高度で専門的な経営課題への対応を迅速に支援することにより、商工会の信頼を高めることができた。

Ⅱ 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	9	9	12	133.3%
25	労務相談	日数	6	6	6	100.0%
26	経営相談	日数	5	5	6	120.0%
27	その他相談	日数	2	2	10	500.0%

支援のポイント・成果

事業者間取引や労務など契約に係るトラブルなど外部との問題、相続や事業承継、求人や助成金活用など内部の問題など経営をする上で事業所が抱える様々な問題を、経営指導員が対応するが高度な専門知識が必要なものは専門家に頼らざるを得ない。今年度も各分野の専門家が知識を駆使し労務・税務・金融・法律等の経営に関するアドバイスを行うことができた。小規模事業者に寄り添ったアドバイスを行ってもらうことが本商工会の専門相談のポイントであり、地域の相談所的役割を果たすことできた。

事業名		摂津市ビジネスマッチングフェア		事業番号	I	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2016 年度～	年度まで	10	年 目	※複数段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市は事業者数約4,000社の工業地域であるが、従業員50人未満の事業所は95%と小さな企業の集積地ともいえる。摂津市には観光協会や飲食店組合などの企業組合数は他市に比べて少なく、摂津市商工会にも「〇〇をしたいので会員の企業はありませんか」との相談依頼は多い。そうした事業所間の連携を自発的に図ることは難しいため、地域総合経済団体である商工会が、自治体、金融機関と連携して交流会を開催する。参加企業の新たな販路開拓および事業所間の連携等の経営力向上が本事業の目的である。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内、近隣地域の事業所(全業種)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：令和8年2月3日 開催場所：摂津市商工会 第1部：講演 ①テーマ「健都における地域と連携した国立健康・栄養研究所」 講師 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 ②テーマ「老舗ゴムメーカーが見据えるBtoB企業の未来」 講師 錦城護謨(株) 第2部：交流会・マッチング・企業紹介プレゼン4社 申込は55社で健康栄養研究所の取り組みから摂津市でのライフサイエンス分野への興味を持ってもらい今後の経営に活かしてもらおうとともに、BtoB企業の先進的な取り組みから会社をどのようにブランディングして人材定着や確保につなげてもらうなどものづくり企業の今後の方向性についてあ考えるきっかけとなった。プレゼン企業はIT系事業者が多く、既存製造業と連携して効果がでている事例紹介もあり、今後の取引拡大につながった。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携	摂津市/摂津市商工会/北おおさか信用金庫/㈱きたしん総合研究所と共催								
④相談相乗	交流がきっかけで新たな販路開拓が繋がり相談事業へとつながった。カルテ化5件								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	41.5	支援実績率	83.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	自社紹介発表又は商談できた事業所割合						
		数値目標	25	%	実績数値	46.1	%	目標達成度	184.4%
	成果の代表事例	個人事業主Aは起業したてで、令和7年7月に摂津市商工会に加入した。企業向YouTube/TikTok運用・映像制作を手掛けており、新規顧客開拓のため本イベントを利用した。プレゼンも行い名刺交換を積極的行った結果、5社から引き合いがあり、さらにイベント終了後も紹介依頼が商工会にも届いている。							
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回はプレゼンの効果が高く他のプレゼン企業も引き合いがあった。これらを活かして次回も効果のあるプレゼン方法を考えていきたい。							

事業名		BCP策定セミナー			事業番号	2	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2020年度～	年度まで		6年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	東日本大震災から10年以上が経過し、平成30年には大阪北部地震、西日本豪雨、関西を直撃した台風21号、令和6年1月に発生した能登半島地震など自然災害が各地で相次いでいる。特に能登半島地震のような大規模災害における復興の遅れが報道されたことにより、災害に対する経営リスクが全国的に認知された。そのため、企業の①防災・減災意識の高まり、②地球温暖化による豪雨災害の多発、③近年発生が予想される南海トラフ地震の3つのリスク及びその影響を軽減するための取組や対策として、BCP策定をすることが急務である。2024年のBCP策定済企業は大企業で37.1%、中小・零細企業では16.5%と過去最高を記録しているが、未だ横ばいで推移しているのが現状である。本市内には、淀川、安威川に挟まれ河川水位より低い地域があり水害の危険性が非常に高く、防災センター建設計画を推進中である。そこで、ハードウェアと共に摂津市内の事業者を対象に、セミナーの開催を通じてBCP策定の重要性等の周知・普及促進を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の小規模事業者を含めた中小企業者等を対象として支援する。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	たった90分でできる！小さな会社でもできる！“事業継続計画”入門講座 開催日：令和8年2月13日（金）14:00～16:00 講師：（株）SBD 摂津市・豊中市（能勢町）、吹田市、池田市、箕面市（豊能町）の5市（人口約114万人）のエリアをカバーする大阪府下最新鋭の消防指令センターを見学し、防災対策への意識を改めて参加者に促すとともに、参加者全員が大阪府提供の「超簡易版BCP『これだけは！』シート（自然災害対策版）」の作成に取り組む内容で実施した。								
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
	①府施策連携	大阪府が推奨する超簡易版BCP「これだけは！」シートを参加者全員が作成した。								
②広域連携										
③市町村連携	摂津市のHP掲載や公共施設へのチラシの配架など、本事業のPR面等で協力を得た									
④相談相乗	個別の事業継続計画の策定支援を希望する事業者を大阪府商工会連合会が行う支援制度につないだ。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	104.5%	満足率	91.3%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	超簡易版BCP「これだけは！」シートの策定企業数							
		数値目標	20社	実績数値	22社	目標達成度	110.0%			
	成果の代表事例	具体的な事例は掌握するに至っていないが、BCP策定の必要性を理解した、意識が高まった、本格的なBCP策定の検討をすると言う感想をいただいているので今後成果につながると思われる。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援数は、目標20社のところ22社26名が受講され参加者の満足度が90.9%と高評価になっている。超簡易版事業継続計画作成とBCP策定の意義と重要性の理解につながったと考えられる。今後とも講師と相談を重ねカリキュラムを充実させて普及啓発に努めたい。策定支援を希望する事業所も毎年あることから今後も力を入れたい。 また、摂津市は鳥飼地域に河川防災ステーション建設計画進行中で、ハード面に合わせソフト面でBCP策定のさらなる普及啓発に努めたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	110.0%	満足率	90.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	超簡易版BCP「これだけは！」シートの策定企業数						
		数値目標	20	社	実績数値	22	社	目標達成度	110.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	1.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業継続力強化計画等の策定企業数						
		数値目標	2	社	実績数値	1	社	目標達成度	50.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		摂津市地域就労支援事業			事業番号	3	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2016 年度～		年度まで	10 年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	大阪府の求人倍率は1.13倍であり、特に中小零細企業の人手不足は深刻であり摂津市商工会にも求人方法や人材定着についての相談がある。つまり地域内の事業所は人材の確保を求めている状況である。働く意欲があり、就業を希望しているが、様々な事情で働くことに不安を持つ者に対して、従来の採用形態では、身近な地域の中小企業で働く場を確保することがなかなか難しい状況となっている。そのような中小企業における人材不足の解消を図るためには、企業側の就労希望者に対するニーズと就労希望者側の企業に対するニーズのギャップを解消し、双方歩み寄った人材を職業人として育成し、職場環境を整備し、自社の人材確保策につなげる仕組みが必要である。企業の生産性向上を図るとともに、様々な人材を受け入れて戦力化していくことで、企業の競争力アップと活性化につなげることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域の人材確保に関心がある全事業所の事業主および担当者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■開催日時：R7年11月7日 14：30～16：00 ■会場：摂津市商工会会議室+WEB ■テーマ：部下との「コミュニケーションを見直そう！」人材育成セミナー ■事業内容：TA（交流分析）の基本的理解 TA診断と結果の確認 診断結果を活かした振り返りワーク ケーススタディ/まとめ ■申込者数：56名 アンケート回答者数：35名 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 事業実施にあたり、内容等の打ち合わせを行った。 セミナー内でOSAKAしごとフィールドの案内を行っていただいた。 ②広域連携 ③市町村連携 地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど周知案内を行った。 ④相談相乗 地域の雇用促進を積極的に考えている事業者のフォローを行った。（カルテ化1件）								
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	78.8%	満足率	100.0%
		目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	雇用に関する知識を得ることが出来たと回答した事業者の割合						
数値目標			70	%	実績数値	82.6	%	目標達成度	118.0%	
成果の代表事例		TA分析の活用により、個々の特性把握と相互理解を促進した。その結果、互いを尊重し合える環境が整い、良好な人間関係の構築に繋がった。								
その他目標値の実績		目標値（計画）				目標値（実績）				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	「求人を出しても反応がない」「すぐに辞めてしまう」といった現場の切実な声に応えるべく、即効性にこだわったセミナーを企画する。 経営者・人事担当者が「選ばれる側」から「選ばれる側」の視点を持ち、ミスマッチを防ぐための知識を習得できる内容とします。一人でも多くの担当者に届くよう、広報戦略を工夫し、地域企業の課題解決に貢献する。								

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		摂津ブランド事業			事業番号	4	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2017年度～	年度まで		9	年	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市には約3935の事業所がある。そのうち製造業者は650社となっており（R3経済センサス調べ）、人口1人当たりの製造業事業者数は北摂一を誇るものづくりのまちである。 ただ、大手企業の下請けの事業者が多く、生産のグローバル化により海外移転が進むなか、今後の事業を発展・継続するうえで、下請け100%からの脱却や自社の看板製品開発が必要と感じておられる事業所も多い。 そのために摂津市発の製品についての発掘および効果的なPRが必要であるため、市と共同で摂津ブランドを立ち上げ、摂津市内で作られている製品をブランド化し、効果的なPRにより販路の拡大や新規顧客の獲得等を目指すとともに、市民の郷土愛を育み、地域振興、商工業発展を目指す。 本事業が徐々に知名度を上げてきており、ブランド認定を受けたいという声やHPからの問合せが増えつつきている。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内製造業者等650社。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	摂津市商工会と摂津市、有識者により立ち上げた「中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定委員会」により、「摂津優品（せっつすぐれもん）」に加え、「摂津優技（せっつすぐれわざ）」として、摂津ブランドの募集を行った。 摂津ブランド事業の内容説明等のほか、申請書の記載方法について、自社の強み等の聞き取りやアドバイス等により支援実施。 募集期間：令和7年7月1日～7月31日 認定審査会：令和7年8月25日（摂津優品4、摂津優技3を申請し認定） 認定式：令和7年9月24日 総支援企業数25（摂津ブランド認定総数29認定優品：22、優技7）となった。 摂津ブランド認定企業の活動として ①展示会等：大阪・関西万博 大阪ウィーク 日時：5月17日 大阪勧業展 場所：マイドームおおさか 日時：12月3日・4日 きたしんビジネスマッチングフェア 場所：マイドームおおさか 日時：11月5日・6日 ②認定証およびブランド認定ロゴの付与を行った。 ③ホームページ等から認定製品のPRを行ったほか、パンフレットも作成し、QRコードなどから商品購入が可能となるようにした。 ④市による展示会出展料をはじめとした広報PR費用の補助や個別による経営指導を行った。 ⑤摂津ブランド動画を作成し、展示会や市役所においてPRした。 ⑥大阪成蹊大学に依頼し、摂津ブランド認定事業者3件の紹介動画作成に向けて活動。（R8年度実施予定） <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 ②広域 ③市町村連携 市産業振興課が事務手続き、摂津市商工会が事業実施に係る事業計画作成支援、販売促進支援を行った。 ④相談相乗 他相談において、カルテ化（8件）								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	18.0	総支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	138.9%	満足率	88.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所							
		数値目標	2社	実績数値	7社	目標達成度	350.0%			
		成果の代表事例	A社において、摂津ブランドの認定を受けたことにより、販売先に認められて売上が大幅に増加。新事業展開のきっかけになった。新事業展開についても令和8年度で行っていく予定なので、積極的な支援を行っていきたい。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度については、優品4、優技3と大幅な増加ができた。優品については申請したいが現状で要件に合わない（食品の要件が厳しいため）ため、今後については認定品の要件の緩和についても検討していく必要を感じる。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	233.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所						
		数値目標	2	社	実績数値	7	社	目標達成度	350.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	120.0%	満足率	83.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	認定製品・技術をPRできた事業所						
		数値目標	10	社	実績数値	13	社	目標達成度	130.0%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		小規模店舗参加型スクラッチカード事業		事業番号	5	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2017年度～		年度まで		9	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市内は3935社程度の事業者が存在している。その中でも、小売等738、飲食等308、サービス関連707と合計1753社が本事業の対象事業者とする。(R3経済センサス調べ) 摂津市内には摂津市商店連合会に加盟している商店街が5カ所、摂津市商店連合会に加盟していない商店街組織が1カ所あるものの、商店街単位でのイベントでは、商店会組織に加入している事業者しか参加できない現状であり、非加盟店舗からのイベントニーズの声を巡回時等に聞いている。 本事業は、商店街に加盟していない事業者も含む小売業・飲食業・サービス業等の小規模事業者をメインターゲットとして実施し、参加店舗については、チラシやガイドブック、ホームページ等からのお店のPR等、スクラッチ実施時の会話等から消費者とのつながりを強化し、今後の売上増加とリピーターの確保、お店のPRなど、販促に対する意識向上に繋げることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内小規模小売業、飲食業、サービス業等1753社(病院等は除く)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年11月1日～12月17日(スクラッチ配布は12月10日まで)の間で、市内小規模店168店舗(アンケート未回答が14件あり)での実施となった。 参加店舗紹介用にガイドブックを作成。はすれくじ利用サービスに事業所のみ、ガイドブックに写真付き紹介とする。 スクラッチカードを約5.2万枚発行。参加事業所に約300枚ずつを配布。 昨年まで行っていたスクラッチカードの追加購入(100枚を1000円で販売)は、予算の都合上実施しなかった。 購入価格500円ごとに購入者にスクラッチカード1枚を進呈。(最大5枚まで) スクラッチカードの当りは、買物券200円券(7845枚)、500円券(2615枚)、商工会賞として1000円券(182枚)を発行した。 複数のはすれ券を集めて特典(すべて事業者負担)を付与するサービス事業については110事業者が参加し、はすれ券の利用も含めて店舗の販促活動に繋がった。							
	＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	180.0	総支援企業数(実績)	168.0	支援実績率	93.3%	満足率	73.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	期間中、来客・売上が増えた事業所の割合						
		数値目標	40	%	実績数値	36.6	%	目標達成度	91.5%
	成果の代表事例	T社においては、この機械に買物物をされるお客様がおられること、市外に買物に行かれるお客様を市内店舗に足を向けていただけるきっかけになることを評価いただけた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降の取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度については、予算の都合もあり当選金額の大幅な減少となってしまった。当選確率も20%(昨年もだが)と低くなったとともに、追加購入もできなかったため、顧客はもちろん事業者にも大変不評であった。次年度は更なる予算削減により、事業実施をしない。							

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）		事業番号	6	新規/継続	継続										
想定する実施期間		2015年度～		年度まで		11	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか） 企業ニーズ （内容・把握方法等）	摂津市は、まちゼミの主な対象となる小売、飲食・サービス業などが1753件ある。（R3経済センサス調べ） 市内の商業の現状は、市商店連合会加盟の商店会5組織、任意の商店会組織が1組しか無く、商店街以外の事業者が市内に広範囲に点在している。 市内の各小規模事業者が事業継続していくためには新規顧客の獲得と、リピーターの確保が必須であり、本事業は点在する個々の店舗でも参加が可能であり、過去の参加事業所の声からも次年度も参加したいという要望が強い。 また、ネット通販や大型店には価格や品ぞろえで対抗が不可な小規模事業者については、まちゼミのコミュニケーションの中から「この人から買いたい」「この人から買ったら安心」と消費者に思っていただけの「人でモノを売る」ことが可能となるとともに、消費者のニーズを聞き取る機会となるイベントであり、個店の活性化により店舗力のアップだけでなく、周辺地域の活性化に繋げることを目的とする。															
	支援する対象 （業種・事業所数等）	摂津市内の商店街および摂津市内に点在する1753事業所以上の小売・飲食・サービス業など。															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	K i d s &親子まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：令和7年7月21日～8月25日 総支援企業数：20社 ※アンケート未回答8社（参加事業者数：30講座 28社） 参加顧客数：356人（組） 同チラシにおいて、おしごと体験事業を9で実施（総支援企業数対象外） 摂津まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：令和8年2月1～28日 総支援企業数：36社 ※アンケート未回答1社（参加事業者数：37講座 37社） 参加顧客数：245人（組） 同チラシにおいて、キャリア教育事業ESCCOフェスタ内にて摂津まちゼミコーナーを設ける 9ブース（総支援企業数対象外） 交流会形式セミナー（場所：摂津市商工会） 日時：令和7年12月2日 19：00～21：00 内容：まちゼミ交流会研修 総支援企業数：20.5社（参加事業者数：21人） <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> <table><tr><td>①府施策連携</td><td></td></tr><tr><td>②広域連携</td><td></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td>市産業振興課は、窓口や広報紙を使った広報支援の他、市及び市教育委員会の後援申請等の手続を行った。商工会は、セミナー実施や店舗募集を含めた運営全般の手続を行った。</td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td>他事業において、カルテ化（カルテ件数37件）</td></tr></table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市産業振興課は、窓口や広報紙を使った広報支援の他、市及び市教育委員会の後援申請等の手続を行った。商工会は、セミナー実施や店舗募集を含めた運営全般の手続を行った。	④相談相乗	他事業において、カルテ化（カルテ件数37件）
	①府施策連携																
	②広域連携																
③市町村連携	市産業振興課は、窓口や広報紙を使った広報支援の他、市及び市教育委員会の後援申請等の手続を行った。商工会は、セミナー実施や店舗募集を含めた運営全般の手続を行った。																
④相談相乗	他事業において、カルテ化（カルテ件数37件）																
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	48.0	総支援企業数(実績)	76.5	支援実績率	159.4%	満足率	90.2%								
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所の割合														
		数値目標	70	%	実績数値	94.7	%	目標達成度	135.3%								
	成果の代表事例	A社について、まちゼミに興味を持って参加していただいたお客様が、まちゼミの内容や弊社の取組に共感いただき、スタッフとして働くことになった。															
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）											
		目標達成度															
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	参加事業所にも参加者にも概ね好評な事業であり、店舗の集客イベントとしては、商店街3種の神器（まちゼミ・100円商店街・バル）の中では、このまちゼミしかないと感じている。 ただ、主旨を理解できていない人、自身の企画内容が悪いにも関わらずイマイチ評価があるのが残念である。															

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	56.0	支援実績率	186.7%	満足率	85.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	92.9	%	目標達成度	132.7%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	18.0	支援企業数(実績)	20.5	支援実績率	113.9%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	100	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		製造業経営者支援事業			事業番号	7	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2008 年度～	年度まで		18	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市内の製造業は約750社あり、昼間の人口が夜間の人口を上回る「産業のまち」である。しかし、摂津市には製造業者組合等の「情報交換」や「協力関係」を築く場所がない状況である。そこで、参加者主導による研修事業の検討や展示会への出展、他団体との交流などを通して、「取引や横の繋がり」・「情報交換」・「意識改革」などを行うことにより、今後様々な形で経営力向上を図る事を目的とする。 小規模事業者の製造業では、仕事の依頼（外注先）を摂津市内で探していたり、他社はどのように経営をしているのかとの興味を持っているなど「情報交換の場」を求めている企業ニーズがある。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業を中心とした750社								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	4月～3月の間で、原則19時より摂津市商工会館をメインの場所として横のつながりや情報交換を行うための事業を年4回開催する。 ・4/10(木) 19:00～20:30 「資産運用セミナー」～マーケット情報、NISAについて他～ ・6/12(木) 19:00～20:30 「ゼロから分かる！生成AI活用術セミナー」 ・11/14(金) 19:00～20:30 「展示会で新規顧客開拓に繋げる！営業力アップセミナー」 ・2/13(金) 19:00～20:30 「中小企業の人的課題にどう向き合うか」 ～健康経営が離職倒産リスクを減らす～								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
③市町村連携	8/2・8/3の摂津まつりに出展。									
④相談相乗	参加した事業所の中でカルテ化されている件数(8件)									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	13.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	123.1%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	本事業が製造業の経営に役立っているという事業者の割合							
		数値目標	70	%	実績数値	93.7	%	目標達成度	133.9%	
	成果の代表事例	本事業がきっかけで従業員のワークライフバランス向上、人材定着に注力されるようになり、生産性向上に繋がった事例もある。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業からは来年度も外部機関から講師を招いたり、経営力向上に繋がる事業を増やして欲しいと言われているので、そのような事業形態に積極的にしていきたい。								

摄津市商工会

事業名		障がい者・求人求職マッチング		事業番号	8	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2014年度～	年度まで	12	年 目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	【事業の目的】 障がい者雇用は、企業と障がい者をマッチングする機会が非常に限られている。その為、障がい者雇用に積極的な企業に対し採用の機会を提供するとともに、障がい者の多様なニーズに応える雇用・就業の機会を提供することを目的とする。 【企業ニーズ】 就職になんらかの困難性のある障がい者の雇用機会、及び企業のCSRに関する自覚を促す社会的な課題がある。また、障害者雇用促進法の改正で民間企業の法定雇用率が令和6年4月から2.5%に引き上げられたところであるが、さらに令和8年7月から2.7%に引き上げられることによる影響や、昨今の人手不足により積極的に障がい者を雇用する企業が増加している。過去の参加企業アンケートを見ても「企業としての義務、責任」「業務拡大による募集」など今後も障がい者雇用を拡大する傾向が見られ、「もっと頻繁に開催して欲しい」との声もあり、企業ニーズは非常に高い。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、9社の中小企業及び求職者50名							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年8月26日(火)13:00～16:00 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 地元企業9社による障がい者合同就職面接会を実施。 参加者数44名 面接応募者数55名 職場のお悩み相談を実施。 企業で働くことに関するちょっとした疑問や職場のお悩みに関する相談に対応した。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府労働環境課、就業促進課と連携して大阪府お仕事相談ブースを設置。 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら求人企業の対応、会場設営、当日対応について実施。 ④相談相乗							
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	9.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	100.0%	満足率
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数						
		数値目標	2	社	実績数値	5	社	目標達成度	250.0%
	成果の代表事例	(株)Aは業務拡大のため、組立作業、システム開発、フロント業務で3名募集。8名が面接を受け、3名採用に至った。本フェアを有効に活用していただいた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)	50	名	目標値(実績)	44	名	目標達成度	88.0%
		来場者数(来場された方へのアンケート等で把握)							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者数は同数だったが、採用企業社数、採用者数はともに増加した。採用者数の増加は来年度も引き続き重要課題とする。また、まだまだ中小・零細企業には普及していないので、今後も募集する際に周知して、少しでも採用に前向きな企業を増やしていく。							

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		摂津市おしごとフェア		事業番号	9	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2018 年度～	年度まで	8	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	【事業の目的】 中小零細企業の人手不足解消、また働く意欲がありながらも就労を実現できない方の支援のために、摂津市・ポリテクセンター関西・茨木職業安定所・大阪府労働環境課・摂津市商工会が連携して合同就職面接会を実施する。 大企業よりも中小零細企業は雇用の確保が難しく、摂津市商工会では三市一町合同就職面接会など対策を講じているが、交通の便の悪さなどの影響が同じ求人内容でも茨木市、高槻市の事業所へ面接希望者が流れてしまい苦戦をしている。そこで本フェアは摂津市の資産であるポリテクセンター関西を活用し、摂津市独自の合同就職面接会を開催することで、中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とする。 【企業ニーズ】 「求人を出しても応募が来ない」「採用してもすぐに辞めてしまう」との相談は多く、企業の就職フェアへの参加意欲は非常に高い。また、摂津市商工会では三市一町合同就職面接会・障がい者就職フェアを開催しているが、募集企業数を申込企業数がオーバーしており、非常にニーズの高い事業である。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、8社程度の中小企業及び求職書70名							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日時：令和8年2月19日（木）14：30～17：30 ・会場：ポリテクセンター関西 ・地元企業8社による合同就職面接会を実施。 参加者数：92名（一般30名、受講生62名） ・面接応募者数：41名 第1部14時30分～15時20分 参加企業プレゼンテーションを実施して参加者へ自社をアピールすることで第2部の面接・相談会に繋げた。 第2部15時30分～17時30分 個別ブースにて企業担当者との個別面接・相談を実施。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府メルマガ配信・広報物の配付 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市・茨木職業安定所・ポリテクセンター関西と連携して実施。 ④相談相乗							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	8.0	総支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数						
		数値目標	2 社	実績数値	0 社	目標達成度	0.0%		
	成果の代表事例	業務拡大に伴い金属機械加工およびCADオペレーターを募集した（株）Aには、計11名の応募があった。最終的な採用には至らなかったものの、本フェアを通じて求職者の最新の市場状況を詳細に把握する機会となった。また、フェア終了後もポリテク受講生からの問い合わせが継続しており、一過性のイベントに留まらない成果が得られている。募集活動における本フェアの有効性を十分に活用できた好例と言える。							
その他目標値の実績	目標値（計画）	70 名	目標値（実績）	92 名	目標達成度	131.4%			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	ポリテクセンター関西での開催も4回目を数え、認知度の向上と転職市場の活況により、参加者は92名と昨年度同様に盛況であった。しかし、3月末時点の採用数は0件と極めて厳しい結果に終わった。集客面での成果が採用という実利に結びつかなかった要因を精査する必要がある。来年度は求職者と企業双方のニーズを再定義し、マッチング精度を向上させるための具体的な施策を検討し、運用の改善を図る。							

摄津市商工会

事業名		事業計画策定・実施支援事業			事業番号	10	新規/継続	継続																																					
想定する実施期間		2022年度～		年度まで	4年目	※複数段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	中小・小規模事業者が、ポストコロナ時代の社会の変化に対応するために、なかなか回復の見込めない事業から新規ビジネスへの転換や、既存ビジネスの競争力向上を図るための、事業計画作成支援並びに立案した計画の実施支援をする。既存事業に危機意識はあるが、「業種・業態の転換」の予定がない事業者や、ポストコロナの事業環境に適応することで再び事業を軌道に乗せようとする事業者、原油・物価高騰、円安による調達コスト増が原因で経営不振が継続している事業者に対し、巡回や窓口相談などでニーズを確認している。																																											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内を中心に小規模事業者を含めた中小企業者等を対象として支援する。特に、原油・物価高騰、円安による調達コスト増などで疲弊している中小・小規模事業者を対象とする。																																											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済変化に対応！新たな挑戦を後押し！ ■セミナー名：事業計画作成セミナー ■開催日時：令和7年5月26日(月) 14:00～16:00 個別相談会：16:00～17:00 ■会場：摂津市商工会議室+Web配信+後日配信 ■内容：補助金、助成金についての基礎知識 採択されるための様々なノウハウとポイント 小規模事業者持続化補助金について ものづくり補助金について 中小企業新事業進出補助金について 加算措置への対応 数値計画の策定方法 採択後の手続きについて 補助金の最新情報 新事業展開テイクオフ事業紹介(大阪府) ■講師：株式会社パール 代表取締役 安田コンサルティング 代表 ■参加者数：72事業所74名 ■告知：令和7年4月、案内チラシ2,000枚を摂津市内事業所に郵送 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">府施策連携商18番 大阪産業局と連携し、新事業展開テイクオフ支援事業の取組のPRを行った。上記事業参加者の中から個別相談があれば、商工会でフォローしながら支援を行った。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8">参加者の新事業展開テイクオフ事業の申請に関するフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。(件数17件)</td></tr></table>								①府施策連携	府施策連携商18番 大阪産業局と連携し、新事業展開テイクオフ支援事業の取組のPRを行った。上記事業参加者の中から個別相談があれば、商工会でフォローしながら支援を行った。								②広域連携									③市町村連携									④相談相乗	参加者の新事業展開テイクオフ事業の申請に関するフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。(件数17件)							
	①府施策連携	府施策連携商18番 大阪産業局と連携し、新事業展開テイクオフ支援事業の取組のPRを行った。上記事業参加者の中から個別相談があれば、商工会でフォローしながら支援を行った。																																											
	②広域連携																																												
③市町村連携																																													
④相談相乗	参加者の新事業展開テイクオフ事業の申請に関するフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。(件数17件)																																												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	73.5	支援実績率	294.0%	満足率	98.6%																																				
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	新事業展開テイクオフ支援事業への関心が高まった事業所数																																										
		数値目標	70	%	実績数値	75	%	目標達成度	107.1%																																				
	成果の代表事例	参加事業者：H氏 今回のセミナーをきっかけにして、新事業展開テイクオフ事業の申請をして「伴走支援採択」の結果となった。 文部科学省が推奨する「STEAM教育(科学・技術・工学・芸術・数学)」のエンジニアリング部門と位置付けた「体験型ものづくり出張教室」の運営事業を行う。結果として摂津少年少女発明クラブの創設に繋がり、ダイキン工業(株)淀川製作所(摂津市)が活動会場を無償提供されるなど地域一体(連携)となった事業展開にも発展した。昨年無料体験会を秋以降毎月1回実施し、口コミなどで知名度が急上昇し、生徒数も予想の2倍以上を超える勢いで、売上増に繋がった。																																											
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度																																			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	開催日を決定した段階で、事業意欲の高い事業所に案内を行って、新規事業の事業計画書の策定(①ビジョンや背景などの事業概要②事業コンセプトの作成③顧客に提供する価値の明確化④商品・サービス提供の仕組み⑤収益を上げる方法の検討⑥利益計画)にある程度の時間をかけられるようにする。 また成果事例なども積極的にPRすることや、個別相談にも丁寧に対応し、1社でも多く事業計画を作成してもらえるようなフォロー体制を引き続き行う。																																											

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		事業承継セミナー			事業番号	Ⅰ	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2020年度～	年度まで		6	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 近年は後継者が見つからない事で事業が黒字でも廃業を選択する企業が多い。日本政策金融公庫調査では60歳以上の経営者のうち60%超が将来的な廃業を予定。このうち「後継者難」を理由とする廃業が3割に迫る。事業承継の現状は、経営者の高齢化が深刻化しているにもかかわらず、後継者不足や事業承継への取組みを先送りしている等、取組みが進んでいない。事業継続のためには、早い段階での事業承継への着手が求められているが、日々の仕事に追われて、なかなか承継に手が付けられない事業者も多い。変化の速い時代で事業の将来性が見通せない不安が深刻化している点などが深く関係していると思われる。事業の「見える化」を行うとともに事業承継課題を顕在化することで早期の対応を促す事を目的とする。 (企業ニーズ) 親族内承継、従業員承継、第三者承継、それぞれのメリット、デメリットを勉強し、事業承継と真摯に向き合えるよう、継いで良かった、譲られて良かったと思えるような事業承継を目指したい。そして、事業承継の重要性を認識、現状把握し、魅力的な会社とするための、実行するきっかけづくりにする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内全事業所、経営者、後継者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	セミナー名：事業承継セミナー 場所：摂津市商工会 3F会議室+Web受講 ①日時：令和7年10月1日（水）14：00～16：00中小企業を取り巻く経営環境とこれからとるべき経営戦略、事例を交えた出口戦略と事業承継M&A補助金の活用 受講人数：7名（会場5名、Web受講2名）受講内容：中小企業の事業承継の現状と具体的な事例を参考にこれから考えるべき経営戦略（経営改善・成長戦略）と事業承継M&A補助金の活用について学んで頂いた。 ② 日時：令和7年10月8日（水）14：00～16：00補助金等を活用した事業成長・承継戦略の実践 受講人数：9名（会場8名、Web受講1名）受講内容：事業承継に必要な事業計画書の作成や補助金申請のポイントなど具体的な補助金の活用について学んで頂いた。 ③ 日時：令和8年1月28日（水）10：00～12：00AI×挑戦で広がる新ビジネス 新しい発想で未来が変わる！ 受講人数：11名（会場5名、Web受講6名）受講内容：事業承継に必要な時代に合わせて、強みを活かしてAIを活用して新事業に取り組む方法を事例とワークを交えて学んで頂いた。告知：令和7年8月末、12月末 案内チラシ各1900枚×2 3800枚を摂津市内事業所に郵送 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 府施策連携商12番：大阪府と連携し、府の事業承継施策の取組をPRする。参加者の個別相談や大阪府事業承継・引継ぎ支援センターや産業局と連携して実施、摂津市から事業者へのメール案内などで協力して頂いた。 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市から開催案内のメール配信や公共施設などのチラシ配架などPR面等で協力を得た。 ④相談相乗 参加者へのフォローを実施し、カルテ化へつなげた。（カルテ化件数8件）								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	86.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	事業承継の基礎知識の理解が深まった割合							
		数値目標	70	%	実績数値	100.0%	%	目標達成度	142.9%	
	成果の代表事例	K社の経営者65歳が今回のセミナーに参加され、長女への事業承継を考えて行きたいと相談を受けた。今後具体的な承継を検討しているので2人で今回のセミナーに参加。5年後を目安に親族内承継を希望されているので、事業承継計画書の作成に取り組む。中小機構の支援も受けて現状の棚卸、事業承継における課題の整理、5年間の承継カレンダーを作成して事業承継に向けて積極的に取り組むきっかけとなった。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は事業承継の現状と経営戦略、補助金やAIの活用でセミナーを3回開催した。事業承継における経営戦略の必要性、補助金活用による新たな取り組みやAIを活用した新事業への挑戦など具体的な事例を交えて分かり易く説明したおかげで満足度や理解度は非常に高かった。しかし、事業承継は各社にとって課題が複雑であり、相続などのセンシティブな情報の扱いが難しく、セミナーで詳しく情報を出すことが非常に難しいと感じている。今後は株式の評価方法が変わるなど制度面での変更も視野に入れて、事業者にとって有用なセミナー開催をしていきたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業承継に対する理解が深まった割合						
		数値目標	70	%	実績数値	100	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	事業承継に対する理解が深まった割合						
		数値目標	70	%	実績数値	100	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		地域資源活用ブランディング事業			事業番号	12	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2023 年度～		年度まで	3	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市の特産物「鳥飼茄子」は大阪府「なにわ伝統野菜」に認定されており、食材として有名料亭でも人気であるが、現在市内3農家と大阪府立とりかい高等支援学校が旬の時期の7月～9月初旬の約2か月間を中心に生産しており、収穫量もわずかな為、幻の伝統野菜として市内でも流通・消費がなかなか進んでおらず、食べた事がない市民がほとんどである。また、市場に出るものはA級品であり、味に問題のないが形や色の悪いものはB級品として市場に流通できず、廃棄されており希少性に拍車をかけている。そこで廃棄されるB級品を活用し市内飲食店と結び付けて、地域資源・観光資源のブランド化を推進する。さらに、JA北大阪の「WE米」も加え、地域ブランディング及び健康増進につなげるメニュー開発・提供するイベントを2025大阪関西万博の開催に合わせて企画し、多くの人に鳥飼茄子×健康を兼ねた料理を行き渡らせることを通じて大阪関西万博の目的であるSDGs達成への貢献や飲食店及び鳥飼茄子生産者の活性化につなげる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内及び近隣の飲食事業者及び北大阪健康医療都市（健都）にある事業所								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年7月17日（木）から7月31日（木）に「鳥飼なすONEグランプリ」の名で、市内25店舗において摂津市特産の鳥飼なすとJA北大阪の「WE米」を活用して事業を実施した。開催中、参加店舗には鳥飼なすを食べに多くのお客様が来店され、7月28日の大阪・関西万博大阪ウィーク「食べなはれゾーン」での出展も含めて、320食もの提供をされた店舗もあるなど大きな反響があり、摂津市特産品の「鳥飼なす」と「WE米」の周知と地域活性化につなげられた。また、お客様に店舗の投票及びスタンプラリーも行い、それぞれ125件の投票及び118件の押印があり、お客様からの評判も良好であった。また、事業を通じて市場に回せないB級品の鳥飼なす806個を供給することができ、食品ロスの低減にもつながるとともに、WE米の健康増進の周知啓発につなげることができた。								
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
	①府施策連携	大阪府経営支援課と連携し鳥飼なすONEグランプリの周知啓発を行った。								
	②広域連携									
③市町村連携	摂津市産業振興課及び広報課を通じ、公式ラインや自治会回覧等で幅広く周知し、市民への周知啓発が行えた。									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	120.0%	満足率	91.7%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	イベント実施をきっかけとした来店客数の増加割合							
		数値目標	120	%	実績数値	121.9	%	目標達成度	101.6%	
	成果の代表事例	E社：過去2年でグランプリ受賞事業所であり、7月28日大阪・関西万博における「大阪ウィーク夏1日目」の「食べなはれゾーン」にて出店し、鳥飼なすワングランプリでのグランプリ料理の提供を行った。当日は国内外多くの来場者が訪問し、7月28日当日の売上2位、3日間通しての全体で4位の売上となり、鳥飼なすの存在を国内外に広く周知することにつながった。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年に引き続き、鳥飼茄子とWE米を活用し、健康にも配慮しつつ鳥飼茄子のオリジナル料理の開発を行い、鳥飼茄子及びWE米の周知啓発につなげることに繋がった。3年目となる本年は、事業実施期間中に大阪関西万博「大阪ウィーク夏」において鳥飼茄子を飲食で提供することができ、全世界への鳥飼茄子の魅力を発信することができた。また3年目にして、市民の中でも「なすワン」が周知され始めていることから、今後も摂津の地域産品である鳥飼茄子の普及と飲食店活性化につながる事業を実施することに努める。								

摄津市商工会

事業名		健都・ライフサイエンス企業と市民交流促進事業		事業番号		13	新規/継続		継続								
想定する実施期間		2024年度～		年度まで		2	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	健都イノベーションパークには健都イノベーションパークNKビル、ニプロ(株)、エア・ウォーター(株)などのライフサイエンス企業が進出している。また摂津市では企業・研究機関の地域実証事業をサポートすることにより、ヘルスケア分野の新製品・サービスを世の中に送り出す健都ヘルスサポーター制度を推進している。しかし、ライフサイエンス分野以外の中小企業にとって参画するのは難しく、地域住民向けに食や健康をテーマにしたイベントを開催することで、イベント参加企業同士のビジネスマッチングやテストマーケティング・販路開拓につながり、地域中小企業のライフサイエンス分野への関心を高めるとともに連携企業を増やしていくことを目的とする。 健都のレンタルオフィスが満室になっており、新たに進出できる企業は限られている中、健都イノベーションパークとの連携を希望する地域中小企業は多い。自社の商品・サービスをヘルスケア分野にどのように活用していくか、イベントを地域住民との接点として活用してもらうことから取り組んでもらう。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市または近隣市、大阪府内で健康産業に興味があるまたは連携希望事業者。															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	健康ブースをはじめ、フード・スイーツの販売、ワークショップなど、イベント盛りだくさん！ ■事業名：健康の秋 健都の秋 秋フェス ～摂津市健幸マイレージポイント付与事業～ ■開催日時：令和7年11月16日(日)10:00～16:00 ■会場：明和池公園(摂津市千里丘新町2) ■内容：●キッチンカー：7事業所 焼き鳥、クレープ、石窯ピザ、ハンバーガー、チュロス、オリジナルタコライス、タコス、ソフトクリーム、みたらし団子、ホットドック、ローストチキンドック、ブルドボークドック イカ焼き、ドリンク他 ●ワークショップ：4事業所 ミニハーバリウム、消臭芳香剤体験、鍼灸治療体験、パステルアート他 ●移動販売車・出店：10事業所 農協のスーパースーパーごはん、農協の生活習慣米うまいい、地元産ヒノヒカリ新米 地元産農産物、パン(工場直売)、韓国料理、鳥飼ナス肉まん、漬物、カフェ、焼き菓子 コンソメスープ、おにぎり、おでん、おつまみ節、カレー、推し活ステージ、謎解き 唐揚げ、綿菓子、摂津産パレルサウナ体験、脳トレ積み木ブロック、ビー玉チャレンジ ドラム缶テーブル ■参加企業数：21事業所 ■売上：2,001,336円 ■来場者数：4,366名 ■告知：令和7年10月、案内チラシ2,000枚を摂津市内事業所に郵送、広報せつつにて記事掲載、摂津市イベントナビにて告知を行った。 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 府施策連携商10番 ライフサイエンス産業との連携を行った。上記事業参加者の中から個別相談があれば、商工会でフォローしながら引き続き販路開拓支援を行った。 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市保健福祉課と連携して、健都ヘルスサポーター制度を推進した。 ④相談相乗 参加者の販路開拓等へのフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。(件数6件)															
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)		20.0		総支援企業数(実績)		21.0		支援実績率		105.0%		満足率		100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標		食や健康をテーマにした自店舗のPRや商品・サービスの開発が必要と感じた事業者の割合													
		数値目標		70%		実績数値		52.4%		目標達成度		74.9%					
	成果の代表事例	参加事業者：K氏 今回の事業もきっかけに飲食店舗のつながりが更に出来て、その後にK氏がリーダーとなり飲食店に声をかけて複数事業者が集結、摂津市鳥飼地区の工場地域にてナイトマーケットが開催された。今後も地域内でのナイトマーケットを企画しており、食を通じた地域活性化につながった。															
その他目標値の実績	目標値(計画)		2,500人		目標値(実績)		4,366人		目標達成度		174.6%						
	当日の来場者数																
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	配置場所によっては、来客数に大きな偏りが発生し、売上金額にも大きな差が出た。会場の出入り口の人の導線などを分析して、次回以降は配置場所を考えていきたい。 また成果事例なども積極的にPRすることや、個別相談にも対応し、1社でも多くの販路開拓フォロー体制を引き続き行う。															

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		オープンファクトリー交流事業			事業番号	14	新規/継続	新規	
想定する実施期間		2025 年度～		年度まで		1	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	摂津市はコンパクトな市域に約4,000の事業所が集積しており、製造業や卸・小売業・サービス業等幅広い分野で事業が展開されている。淀川以北の市町では唯一・昼間の人口が夜間の人口を上回る「産業のまち」である。 近年では、オープンファクトリーは製造業のインナーブランディング強化の重要性を認識させるひとつの手法として活用されており、製造業が集積している摂津市鳥飼地域の中小企業（製造業）同士で連携してオープンファクトリーを実施することで「交流・刺激・活力」を創出し、社員の理解促進や組織のパフォーマンス向上にも繋がる。 また、社員の会社に対する愛着が増幅して社員の定着率向上や自社に合った人材採用に繋がったり、社員自らが自社の魅力の情報発信を行うなどの相乗効果が育まれる事を目的とする。BtoC向けの新商品開発や新サービスを展開予定の企業はイベントを通じて、来場者へテストマーケティングや販路開拓をする事も目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内製造業を中心とした750社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	◆事業名：せっつキッズファクトリー参加企業・魅力発信向上交流会【人材育成型】 ■開催日時：令和7年11月20日（木）18：00～19：00 ■会場：摂津市産業支援ルーム（摂津市商工会内） ■参加企業数：9事業所（上野鉄工(株)、(株)アサヒエ研究所、(株)カネタ、(有)ワコーメタル、(株)東洋工作所、(株)花岡工務店、ホクト工業、(株)三和軽合金製作所、(株)レイホー製作所） ■内 容：グループディスカッション（各社情報交換・交流） ◆事業名：せっつキッズファクトリー2025 ～みる！きく！つくる！やってみよう！【販路開拓型】 ■開催日時：令和7年11月29日（土）10：00～16：00 ■会場：摂津市鳥飼エリアの町工場11か所 ■内 容：工場見学・ワークショップ・フード&マルシェ・エンターテインメント ①工場見学：2次元・3次元レーザ加工、プラスチック加工、溶接、木材切断、金属ロール製造、アルミ铸造他 ②ワークショップ：組立3Dパズル、クリスマスリース、亚克力キーホルダー、亚克力飛行機、オリジナルキーホルダー(鉄・革)、レジンキーホルダー、シューズアクセサリー、ペン立てバイク、18面体ヒノキのキーホルダーを作ろう、メタルツリー、メッセージカード作り、オリジナルフォトスタンド、3D体験スキャン体験、キーホルダー他 ③フード&マルシェ：ハワイアンフード、ベビーカステラ、ネパール料理、スパイスカレー、ピザ、たこ焼き、ハヤシライス、サウナ焼き芋、たい焼き、唐揚げ、ケバブサンド、おにぎり、おでん、洋菓子、クレープ、ポテトフライ他 ④エンターテインメント：キッズダンス、フリースロー、グランドゴルフ、モルック、ストラックアウト、ガチャみくじ、アイシングクッキー、バーチャルゴルフ、サウナ、ドローンサッカー、カーボンコイン落とし ■参加企業数：11事業所（上野鉄工(株)、(株)アサヒエ研究所、(株)カネタ、(有)ワコーメタル、(株)東洋工作所、(株)花岡工務店、三島鐵工(株)、ホクト工業、(株)三協電材製作所、(株)三和軽合金製作所、(株)レイホー製作所） ■来場者数：2,560名 ■告知：令和7年10月、案内チラシ2,000枚を摂津市内事業所に郵送、広報せっつにて記事掲載、摂津市イベントナビ、案内チラシ約6,000枚を摂津市内小中学校全校生徒に配布。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市産業振興課と連携して、新商品開発・新サービス・人材定着・人材確保を促進した。 ④相談相乗 参加者の販路開拓等へのフォローを実施し、カルテ化へ繋げた。（件数11件）							
		事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%
実施結果	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	企業間交流をする事で他社から刺激を受け、インナーブランディングの強化に繋がった事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	77.8	%	目標達成度	111.1%
	成果の代表事例	参加事業者：U氏 今回の事業をきっかけに社員が来場者に直接説明することで「自社技術の価値」を再認識したり、普段は裏方の職人が主役になり、仕事への誇りが向上した。また部門間で「どう見せるか」を議論する事で社内コミュニケーション活性化したなどインナーブランディングの強化に繋がった。							
その他目標値の実績	目標値（計画）	1,000	人	目標値（実績）	2,560	人	目標達成度	256.0%	
	当日の来場者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	巡回バスの路線（ルート）により、来客数に大きな偏りが発生した。 各企業の来場者数や位置を分析して、次回以降は巡回バスの路線（ルート）を考えていきたい。 また成果事例なども積極的にPRすることや、個別相談にも引き続き対応し、1社でも多くの販路開拓・人材育成のフォロー体制を引き続き行う。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	90.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	インナーブランディングの強化に繋がった事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	77.8	%	目標達成度	111.1%
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	110.0%	満足率	90.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	PR・サービス開発に取り組んだ事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	81.8	%	目標達成度	116.9%
	その他目標値の実績	目標値(計画)	1,000	人	目標値(実績)	2,560	人	目標達成度	256.0%

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		創業・承継経営者発掘育成交流会			事業番号	15	新規/継続	継続	
想定する実施期間		2011 年度～		年度まで		15	年 目	※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	(事業の目的) 創業者や事業後継者は、様々な問題乗り越える為の知識や解決力が十分には備わっておらず、経営がうまくいっていないケースが多い。新しい革新的な発想で経営の方向性を変えていくために、経営課題に共に取り組み、自社の課題と問題点を発見し、広域による企業同士で知的・人的ネットワークを広げ、改めて自社のあるべき方向性を検討することを目的とする。 (企業ニーズ) 物価上昇、円安等の影響を受けて各企業や店舗の収益力は落ちてきている。ビジネスモデルの再構築をしなければ事業継続するのは難しくなっており、また、創業者が必要とされる経営能力も高くなっている。参加者同士の交流や相互刺激によって、自身のリーダーシップを磨き、周囲への影響力を高めることで、さらに企業力を高め、組織を成長させていくきっかけづくりにする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪三島地域に属する全業種事業所、市内事業所の経営者(後継者、後継予定者、創業期(創業1年から5年)安定期、安定下降期、下降期等の企業のライフサイクルに入っている企業経営者)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■開催日時: 第1回 令和7年7月29日(火) 14:00～16:00 第2回 令和7年8月29日(金) 14:00～16:00 ■会場 : 摂津市商工会 ■テーマ : 売れる道筋をつくる! 新規事業の学び&交流会 ■事業内容: 第1回 なにから始める? 新規事業の方針設計&交流会 第2回 なんて売れない? 商品ブラッシュアップと”伝わる”カタチ ■参加者数: 28名 内訳: 第1回 16事業所、第2回 12事業所							
	<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携	商工労働部中小企業支援室と企画・広報で連携した。							
②広域連携	茨木・島本・吹田・高槻・摂津の4市1町で募集した。								
③市町村連携	摂津市と調整・協議を当日対応について検討を行った。								
④相談相乗	専門家によるブラッシュアップ、個別相談に1件つないだ。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	65.0%	満足率	96.2%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	新規事業取組又は事業改善に対する意識改革度						
		数値目標	70	%	実績数値	97.5	%	目標達成度	139.3%
	成果の代表事例	新規事業の方向性整理および販路開拓のヒント獲得を目的として開催した。1日目は新規事業の方針設計や提供価値の整理、2日目は商品ブラッシュアップや売れる道筋づくりをテーマに講義とグループワークを実施し、参加者同士の意見交換の場を設けた。 受講者アンケートでは、セミナーが今後の事業に「役立つと思う」と回答した参加者が多数を占め、グループワークについても「アイデアが広がった」「ビジネスのヒントがあった」「新規事業を考えるきっかけになった」等の回答が多く見られた。満足度についても「大変満足」「満足」が大半であり、他事業者との交流や新たな視点の獲得につながったとの意見が寄せられた。 一方で、資料の見づらさや講義の進行スピードに関する意見もあり、今後は内容の分かりやすさや進行方法の工夫を図り、より参加者の理解度向上につながる事業運営を検討する必要がある。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新規事業の方向性整理や販路開拓をテーマに、講義とグループワーク、交流を組み合わせた事業を実施し、参加者が自社事業を見直す機会を提供した。アンケートでは、他事業者との意見交換により新たな視点や気づきを得られたとの回答が多く、事業検討のきっかけづくりにつながった。 一方で、講義内容や進行方法に関する改善意見も見られたことから、今後は内容の分かりやすさや進行の工夫を図り、より実践につながる事業運営を検討するとともに、交流機会の創出と新規事業・事業改善支援を継続していく。							

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		クラウドファンディング活用セミナー			事業番号		16	新規/継続		継続	
想定する実施期間		2011年度～		年度まで		16	年 目	※複数段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	中小企業や個人事業者が新たな商品開発や新事業展開時、また社会的課題やニッチな市場に対する新サービス展開する際、市場に対するニーズの調査、販売経路の確保、ユーザーからのフィードバックを受けることが難しく、資金・知識等の経営資力に余裕のある事業所でない取り組みが難しい現状にある。 クラウドファンディングは、不特定多数の個人から出資を募ることにより資金面の問題を解消し、小規模事業者であっても新製品・サービスのニーズ把握や、既存の販売経路に束縛されない新たな販売チャネルの開拓及び新製品・サービスの課題に対するフィードバックを受けることができる。近年、ニュースに取り上げられることも多く、実行者・出資側になりえるユーザー両方に周知が進んできており、挑戦者が増加している。その一方で、プロジェクト数の増加に伴い、以前の手法が通用せず今まで以上に見せ方や周知の仕方が重要となってきた。そこで、普及・啓発セミナーを開催し、最新の手法を学んでもらうとともに、クラウドファンディングによって社会の課題に対する必要度やニーズを事前にマーケティングすることができるツールとしても活用を促進する。									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津、茨木、高槻、吹田、島本および周辺地域の全事業所の事業主および担当者。 創業者及び創業予定者。									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	AI活用で時短！アイデア一つで挑戦！！AI×クラウドファンディング活用セミナー ■開催日時：令和8年2月4日（水）10：00～13：00 ■会場：摂津市商工会会議室＋ウェブ配信 ■内容：クラウドファンディングの基礎 プラットフォームの選び方 クラウドファンディングは資金調達ではない！？ クラウドファンディングのコツ（準備とスタートダッシュ） クラウドファンディング活用方法 事例紹介 ワークショップ（クラウドファンディングの始め方）グループ式 ■講師：一般社団法人ビジネス共創協会 代表理事 ■個別相談 2/4（水）1件 ■参加者数：26事業所26名									
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 ②広域連携 摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。 ③市町村連携 当初摂津市と創業者、創業希望者を対象に一緒に実施する予定だったが、創業支援と今回の実施内容が合わなかった為市と共同実施はできなかった。今後は、より事業実施前から市との連携を密にし、市内のより多くの事業者へ働きかけられるように改善を図る。 ④相談相乗 事例紹介を通じて自身のイメージのブラッシュアップを行い、専門家による相談事業にもつなげるため、終了後の相談会を設け、1件の相談があったが、カルテ化にはつながらなかった。今後は、アンケート等で相談支援事業の希望を確認するなど、カルテ化に繋がられるよう改善を図る。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	86.7%	満足率	100.0%		
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数								
		数値目標	10	社	実績数値	25	社	目標達成度	250.0%		
	成果の代表事例	今回具体的な事例が掌握するには至っていないが、活用したいと答えた事業所が17社、活用を検討していきたくて答えた事業所が8社であった。生成AIの活用によりアイデア出しなどクラウドファンディングに取り組む事業者に対するハードルが下がっており、新商品開発や、イベント実施に、ソーシャルビジネスに活用したいなどのアンケート回答があったことから、今後成果につながるものと思われる。									
その他目標値の実績	目標値（計画）	0	目標値（実績）	目標達成度							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加事業所のアンケート結果から、内容としては問題なく満足度の非常に高いセミナーで質は高い結果となった。近年のクラウドファンディングはプロジェクト数が激増しており、年を経る毎にプロジェクト実施のための準備の重要性が高まっている。そのため、プロジェクト実施に際し、創業者や個人事業主・零細企業単体では参入しにくい状況とであったが、近年成長著しい生成AIをうまく活用することで、専門家に頼らなくても挑戦できる土壌が揃ってきた。ただ、生成AIの使い方にはコツがあり、当事業の重要度は増している。次年度も当事業を通じ、AIの活用を交えてクラウドファンディングによる創業者、個人事業主、零細企業でも販路拡大や注目を集めることにつなげられるよう、活用検討する事業所を一社でも多く出していきたい。									

事業名		人材採用定着支援セミナー			事業番号	17	新規/継続	継続	
想定する実施期間		2013 年度～		年度まで	13	年 目	※複数年度階段的実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	【事業の目的】 摂津市では約4,249事業所のうち小規模事業所の割合が2978事業所と全体の70%を占め、茨木市では9,132事業所のうち5,889事業所と全体の64%を占めている。 構造的に人手不足に陥っている中小零細企業の問題を改善し、人材の定着を促進して長期的に人材育成を行う環境をつくることで、若手人材へのスムーズなノウハウや技術の継承、幹部候補の育成等、組織文化の醸成を行い、企業の持続的な業績向上に繋げていくこと。 【企業ニーズ】 人材獲得競争が激化するなか、中小企業が採用コストをかけ有料求人サイトを利用して従業員を採用しても、採用後のギャップやコミュニケーション不足などにより、すぐに辞めてしまうということが少なくない為、ミスマッチを防ぐ採用基準・従業員が主体的に働ける教育体制・長期で働いていける職場環境づくりなどの採用・育成・定着に関する知識習得の企業ニーズは多い。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市・茨木市及び大阪府内の中小企業の事業主・人事担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年11月17日(月)14:00～16:00 摂津市商工会会議室及びZOOM/YouTube配信 第一部 会社求められる採用思考 ・採用について中小企業は大手と同様の方法では戦えないので、大手とどのように差別化をするかについて学んだ。 第二部 心を掴む求人票作成 ・ハローワークの活用法、求人票で求職者が注目するポイント、応募するにあたり重要視する求人票の項目等を学んだ。 第三部 個別相談会 ・実際に使用している求人票をブラッシュアップして心を掴む求人票作成について学んだ。 申込者数63社 アンケート回収37社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	「OSAKAしごとフィールド」の紹介PRをセミナー募集時において、チラシや本会ホームページ等に掲載し、セミナー終了後についてもPRの時間を設け、登録の誘導を行った。また、大阪府が作成するアンケート項目を、セミナーで配布するアンケートに盛り込んだ。							
	②広域連携	摂津市商工会と茨木商工会議所と広域連携することにより、幅広い地域での募集活動を行った。							
③市町村連携	摂津市報や市産業振興課へ来場する事業所に対し窓口などによる広報告知を実施。								
④相談相乗	相談事業所について別の労務相談を受けカルテ化に繋がった。(カルテ化件数1件)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	92.5%	満足率	94.6%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	採用・育成・定着に関する知識の理解度						
		数値目標	70	%	実績数値	100	%	目標達成度	142.9%
	成果の代表事例	セミナー終了後に参加企業A社が、個別相談を通じ、講師から自社の求人票に対する具体的なアドバイスを受けることで、効果的な求人作成スキルを習得していただいた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	受講者アンケートでは満足度・理解度ともに高く、内容の充実したセミナーとなった。一方で、中小零細企業にとって人手不足は解決すべき最重要課題であることを改めて再認識する機会となった。 申込数は63社と目標を上回ったものの、YouTube受講者からのアンケート回収率が低迷し、総支援事業数の実績値が計画を下回る結果となった。 企業ニーズとしては、採用・定着・人材育成への関心が高く、他社の成功事例や具体的な取り組みを知りたいという要望を多く受けている。今後はこれらのニーズに応えるべく、具体的事例を交えた支援を継続していきたい。							

摄津市商工会

事業名		労働法改正セミナー～労働担当者が知っておくべき最新法令～			事業番号	18	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2017年度～		年度まで		9	年 目	※複数段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	労働法は毎年改正が行われ、中小企業といえども対応していかなければならない。一例では2025年から男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにするため、育児介護休業法および次世代育成支援対策推進法の改正により、労働者を支援するための措置等が行われる。これらを事業所が知らずに契約してしまうと労務トラブルに繋がる可能性がある。 こうしたトラブル防止のために本セミナーを実施し、現役社会保険労務士による実践の現場の情報を多く取り入れ、自社について考えてもらい、様々な環境変化にも自ら対応できるようになれることを目的とする。中小企業の多くは、社内の教育部門を持たないところが多く、部門別研修のノウハウにも乏しいところが多い。また最新の法改正等の情報を入手する時間、労力が乏しいためセミナーに対するニーズは高い。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小企業の事業主並びに人事・労務担当者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ZOOMで各日14:00～17:00で開催 実務の手続きと法改正紹介、助成金の活用など総務担当者から事業主まで知っておくべき内容について労務知識を習得していただいた。 第1回 10月7日(火)「労働保険・社会保険(適用編)」 労働保険・社会保険の仕組みや採用・退職時の手続方法、保険料の計算方法や法改正について学んだ。 第2回 10月14日(火)「労働保険・社会保険(給付編)」 ケガをした時の労災給付、業務外のケガや病気の時の健康保険給付手続き方法、出産など育児に関する給付手続きについて学んだ。 第3回 10月23日(木)「最新の法改正・労務トピックス」 仕事と育児・介護の両立支援について、法改正のポイント、AIを活用した人事管理などの取り組み事例などを通して学んだ。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府労働環境課より大阪府労働相談センター事業について当日参加者に説明していただいた。 ②広域連携 茨木商工会議所と広報・集客において連携して実施した。 ③市町村連携 ④相談相乗 地域の雇用促進を積極的に考えている事業者のフォローを行った。カルテ化3件。								
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	66.7%	満足率	92.3%
		目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	必要な労務知識について理解できた事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	100	%	目標達成度	142.9%	
	成果の代表事例	A社は本セミナーを受講して、「人事制度にAIを活用するという発想がなかった。AIに制度設計を依頼する際の質問テンプレートまでご提示いただいたことで、実務への応用も具体的にイメージできました。」とのことであり、人事制度を構築中である。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	申込人数は130人と例年と同程度であり、セミナーの浸透度を感じる。しかし、集客増のための販路開拓が課題である。大阪府労働環境課他2件のメルマガを利用させていただいているが他の公共系機関とも提携し、広報活動を拡大したい。								

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		事業環境変化に対応したDX推進セミナー		事業番号	19	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2021	年度～	年度まで		5	年 目	※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	令和2年以降、大手企業を中心に飛躍的にテレワーク等が推進され、ITを活用した効率化が進んだが、金銭的・人的リソースに限りの有る中小・零細事業所の現場は、いまだにマンパワーによる業務が多くIT導入が進んでいない。 その状況下で令和5年以降、世界情勢を背景とした物価上昇・人件費高騰・人手不足、さらにはインボイス導入による事務負担増大など、中小・零細事業所を取り巻く環境は急激に変化している。この難局を乗り越えるため、ITを活用したいと検討している中小・零細事業所に対し、ITツールやITベンダーは多種多様であり、ビジネス課題も異なることから、どのツールやベンダーをどう活用すれば自社に最もメリットがあるのかを、適切に判断し実行に移せている事業所は少ない。さらに令和7年10月にはWindows10のサポートが終了し、AIであるcopilotを積んだWindows11に更新せざるを得ない状況が予想される。 そこで、中小企業・小規模事業者に対し、事業環境変化に応じた事業所毎に適切なITツールの活用や社内のデジタル化を推進するなど、DXを導入することにより各社に適合した組織再構築を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市、四條畷市、島本町、豊能町、能勢町及びこれらに隣接する地域に在住する全事業所の事業主及び担当者・創業予定者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	「物価高騰・人手不足に立ち向かうIT・DX推進セミナー～経営を前向きに変える3ステップ～」 申込事業所数：31.5社（3回のうちいずれか1回以上で申込の事業所数）支援事業所数：30.5社 2025年6月24日（火）14時～15時 第1回 もう待ったなし！小さな会社のためのIT・DX超入門 2025年7月8日（火）14時～15時 第2回 生成AI活用 人材を内製化する“生成AI体感セミナー” 2025年7月22日（火）14時～15時 第3回 中小企業のための売上拡大実践セミナー 講師：（株）フォーバル 第1回では中小企業がいま取り組むべきDX化のポイントと事例、行政支援制度を学んだ。 第2回では数ある生成AIの紹介と、その中でも特に使いやすい生成AIの具体的な使い方を学んだ。 第3回では、AIを活用した営業及び売上拡大につなげる実践的な手法を学んだ。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
①府施策連携		大阪府商工労働総務課と連携し、大阪府DX推進パートナーズのFacebookページや大阪府メルマガでの周知を行った。							
②広域連携		摂津市商工会が幹事で、四條畷市商工会、島本町商工会、豊能町商工会、能勢町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。							
	③市町村連携								
	④相談相乗	基本的な内容から説明を行い、具体的導入については専門家による相談事業にもつなげる。相談会の受付をしていたが、セミナー申込時点では申し込みはなく、セミナーの説明内容で参加者の相談したい点が払しょくしたためカルテ化に繋がらなかった。今後は、アンケート等で相談支援事業の希望を確認するなど、カルテ化に繋がられるよう改善を図る。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	参加企業のうちDX導入の検討に至った事業所						
		数値目標	10	社	実績数値	15	社	目標達成度	150.0%
	成果の代表事例	参加事業所：H社 溶接加工を行う製造業である。代表者が職人であり、自社の拡大を目指しバックヤード業務や広告などの効率化を図りたいと考えてAIの活用に積極的であり、今回より効率よく活用したいため当セミナーに参加した。 3回とも全て参加され、Geminの活用や、AIによるプレゼン資料の自動作成などを学ばれ、自社でお客様へのプレゼン資料の作成などに早速活用している。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年はアーカイブ配信でも学べる内容で企画を行った。また、近年一気に導入が進んでいるAI技術の導入を主に学べる内容とし、事業者からの満足度も高いセミナーとなった。バックヤード業務の効率化などを中心に、次年度はさらにAIを活用した事例紹介などを盛り込んだ取り組みやすい内容でのセミナー企画を行いたい。							

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

摄津市商工会

事業名		三市一町合同就職フェア		事業番号	20	新規/継続	継続		
想定する実施期間		2011	年度～	年度まで	15	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	【事業の目的】 大阪府の2024年11月の有効求人倍率は1.23と全国（1.25）と比較して低い。また完全失業率は3.2%と全国値2.5%に比べると高い値となっている。地元の中小零細企業にとっては、単独で求人を募集しても有能な人材の確保は難しく、商工会・商工会議所に相談も多い。そのような両者を結び付ける機会を三市一町の自治体および会議所・商工会が連携することによって提供し、当地域の中小零細企業の雇用確保と求職者の雇用促進を図ることを目的とする。 【企業ニーズ】 過去の三市一町合同就職面接会参加企業のアンケート結果から「費用や時間をかけずに採用活動を行いたい」「自治体と商工会・商工会議所の開催する安心感がある」との声が多数あり、参加を希望する企業が多い状況が続いている。また、中小零細企業の多くは、単独で就職面接会を行うだけの知名度や余裕がなく、人材確保に苦慮している相談も多く寄せられている現状からニーズはとても高い。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、28社の中小企業及び求職者100名							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和8年1月21日（水）13：00～16：00 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数126名 地元企業28社による合同就職面接会を実施。 面接応募者延べ人数111名 中高年齢者就労相談・福祉のお仕事相談・職場のお悩み相談・仕事と家庭の両立相談を実施。 各相談会総数28名 「将来に向けて知っておきたいお金の話」セミナーを実施。 参加者数20名 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府労働環境課が「職場のお悩み相談」ブースを出展。 ②広域連携 3市一町（摂津市・高槻市・茨木市・島本町）の商工会議所・商工会・市と共同で実施。 ③市町村連携 3市一町（摂津市・高槻市・茨木市・島本町）の商工会議所・商工会・市と共同で実施。 ④相談相乗 カルテ化に繋がらなかった。今後は、アンケート等で相談支援事業の希望を確認するなど、カルテ化に繋がられるよう改善を図る。							
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	96.4%	満足率
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	参加企業のうち採用に至った企業数						
		数値目標	5	社	実績数値	5	社	目標達成度	100.0%
	成果の代表事例	A社は正社員の食品工場スタッフを募集しているが、応募が無かった。その為、本事業を利用していただいたところ10名の応募があり2名採用することができた。							
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	100	名	目標値 (実績)	126	名	目標達成度	126.0%
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	来場者（来場された方へのアンケートなどで把握）							
		集客広報の強化により、来場者数は126名と前回摂津市開催時の65名を大幅に上回った。同時開催の「将来に向けて知っておきたいお金の話」セミナーも定員20名に対し満員となり、高い関心が伺えた。一方、延べ面接数は111件に達したが、採用数は7名に留まり、最終的な成果には課題を残した。今後は採用に至らなかった事業者へのヒアリングを通じ、マッチング精度の向上に向けた改善策を検討し、次期の採用率アップへと繋げていく。							